

12月1日より、いよいよ民間移管（建替移管）により「社会福祉法人 種の会 天王寺保育園」がスタートしました。同時に50年以上続いた（旧）天王寺保育所の施設（市営住宅1階部分）が11月30日を持って長い歴史に幕を下ろしました。

もしかすると何世代かにわたって「天王寺保育所」に通われたという方もおられると思います。また、天王寺保育所で保育に従事された大阪市の職員の方も多数いらっしゃると思います。本当に長い間、あの地において脈々と保育を営まれて来られた関係者の皆様には心より労いと敬意を表したいと思います。

あの市営住宅の一階部分で50年以上に渡って保育が行われてきた最後の1年8ヶ月（引継ぎ保育から委託保育にかけて）を過ごさせていただく中で、きっと私たちにしか経験できなかったであろう様々な気づきや学びを得ることができたと思います。本当にありがとうございました。

12月1日からは、私たち社会福祉法人種の会による天王寺保育園（民設民営）として、天王寺区烏ヶ辻2丁目（第二大阪けいさつ病院の並び）の新園舎に移転をして保育を運営して参ります。

まずは大阪市、保育所運営課関係各者の皆様には認可手続きや補助金申請等、多岐に渡りご支援をいただき誠にありがとうございました。

新園舎の設計にあたっては株式会社ディ・オー様と度重なる打ち合わせを行い、私たちの想いとイメージをしっかりと設計に反映して下さり、保育園では稀な「焦茶色の外壁」というシックな外観と、室内は「木材を多く使用した明るくてあたたかみのある落ち着いた空間」となっています。

建築の株式会社林建設様には、連日本当にご尽力いただき、安全かつ丁寧に工事を進めていただき、近隣住民や所轄公安等からもほとんど苦情や指摘を受けることなく、工期通りに完成していただきました。

室内の壁画アートでは、種の会のマークのデザインでお馴染みのおかだ美保先生とオカダノ工様に本当に素敵なアートを描いていただきました。このアートは私たち天王寺保育園の象徴でもありシンボルでもあり、種の会としてこの地（烏ヶ辻）で保育をするストーリー（物語）が描かれています。

地上園庭、屋上園庭は株式会社フィンオール様が施工していただきました。木製の遊具やパーゴラ&デッキ、ゴムチップ、人工芝、天然芝、植栽体、畑、砂など、多様性に富んだ「屋外における子どもの遊び込み（夢中度）」を追求した素晴らしい園庭環境を実現していただきました。

子どもの机、椅子、ロッカー、棚などの家具は木の里工房 木薫（もっくん）という岡山の業者様に制作いただきました。こちらも木のぬくもりを感じることでできるとても素敵な家具となっています。種の会マークの焼印も入れてくださっています。

その他にもたくさんの方々に新園舎での保育にあたり、ご支援とご尽力いただきお陰様で素晴らしい環境のもと保育ができることに職員一同心より感謝申し上げます。

最後に、引き継ぎ保育から今日に至るまで、私たち種の会職員をあたたく辛抱強く見守っていただきました保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

これから新たな地で新たな園舎で、私たちと一緒に、みんなで見守っていきましょ。